



# ITホールディングスグループに ソラン株式会社が仲間入り

インテックとTISが2008年に経営統合してITHDグループも2年が経ちました。各社のお客さま業種が分散していることよって、特定業種のIT投資動向に左右されない安定した収益構造を実現してきたとともに、この間グループ事務効率化を狙ったシェアードサービス会社を設立し、インテックがインテックHDを吸収合併するなどグループの再編を進めてきています。また、イギリスの大手通信会社「プリティッシュテレコミュニケーションズ・ピーエルシー」(以下「BT社」と業務提携し、グローバルにビジネスを展開している企業)に対して、より高度なITサービスソリューションを提供していく体制を整えました。

## 長野県松本市を発祥の地とし、 40年の歴史を持つソラン

2009年12月には、全国展開しているソランをITHDグループに迎え入れました。ソランは、金融業や製造業の中堅企業から大企業まで幅広いお客さまに対して、ソフト開発を中心にITサービスを提供し、中国市場にも力を入れている企業です。

2009年3月期実績で見ると、ソランが加わることよって、ITHDグループは売上高4000億円、営業利益270億円、従業員1万9000人となり、2010年3月期においてITサービス業界2位に浮上する見通しです。

一方、こうした規模拡大と並行してグループ各社がそれぞれ得意とする事業分野を組み合わせることで、相乗効果も上がってきています。

インテックが得意とする金融・保険・医療分野などで、ITHDグループ各社との共同営業の売上が上がり、技術やノウハウを組み合わせたソリューションをこれまで以上に提供できるようになりました。

今回のソランの仲間入りで、ソランが得意とする宇宙関連の先端技術や製造業でもインテックとの提携効果が期待され、グローバルにビジネスを展開している企業、特に中国での展開も期待されます。

## 各社の独立性とグループ全体の一体感で さらなる発展を

このようにITHDグループは、スケールメリットを生かして大型受注の機会を増やすと同時に、グループ各社がそれぞれの独立性、得意分野、国内外での得意地域で強みを発揮しつつ、独立性を保ちながらグループ全体で一体感をより強く持ち、いっそうの発展を目指しています。



ITHD 岡本社長(左)とソラン 千年社長(右)



# ITホールディングスグループに ソラン株式会社が仲間入り

いくつもの個性的な山頂を持つ  
多角的な連峰を目指す

ITHDグループは、さまざまな技術や得意分野を持つた多くの事業会社から構成されており、各事業会社がそれぞれの個性を伸ばしながらグループ全体としての総合力を発揮できる企業グループ像を目指しています。企業グループ像を山に例えるなら、ITHDは富士山のようによく屹立するのではなく、たくさんの個性的な山頂を持つ、多角的な連峰に当てはめることができます。

## ITHDの主なグループ会社

| 社名         | 概要  |
|------------|---|
| 株式会社インテック  | 1964年、富山市で「富山計算センター」として設立。金融・製造・流通・医療・公共など多様な業種に強み。売上高966億円。本社は富山市。東京本社は東京都江東区            |
| TIS株式会社    | 1971年、大阪市で「東洋情報システム」として設立。金融関連、とくに、クレジットカード関連分野に強みを持つ。売上高1117億円。本社は東京都港区、大阪府吹田市           |
| 株式会社コーフィット | 1970年、東海銀行(現・三菱東京UFJ銀行)の子会社「セントラルシステムズ」として設立。カード・信販に強みを持つ。売上高424億円。名古屋市内に名古屋本社、東京都港区に東京本社 |
| 株式会社アグレックス | 1965年、「日本能率コンサルタント」として設立。ビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)事業に強みを持つ。売上高267億円。本社は東京都新宿区                 |
| クオリカ株式会社   | 1982年、コマツの子会社「小松ソフトウェア開発」として設立。製造業、流通・サービス業に強み。タッチパネル端末メーカーでもある。売上高193億円。本社は東京都江東区        |
| AJS株式会社    | 1987年、旭化成の子会社「旭化成情報システム」として設立。製造業、医療分野に強みを持つ。売上高105億円。本社は東京都墨田区                           |

売上高は2009年3月期

ITHDグループ企業は64社あり、売上高100億円を超える直接子会社は新たに仲間入りしたソランを加えて7社となります。

## 企業風土が似通うソランとインテック

1970年、松本計算センターとして設立されたソランは、資本金68億7800万円。企業風土がインテックと似た企業で、東証1部に上場し、2009年3月期の連結売上高は614億円、グループ従業員4166人、国内外に子会社14社を持っています。

ソラングループには金融業、製造業を中心に大企業・中堅企業のお客さまが多く、かつ、それらがインテックやTISと重複していない点特徴です。また、ソランは宇宙システム関連などの高い技術力に加え、独立系のシステムインテグレーターの特長を生かした柔軟なソリューション提供力を持ち、グローバルな面では20年前から中国市場にも力を入れています。



ソラン株式会社本社ビル

## 売上高でITサービス業界第2位の企業規模に

ITHDグループの規模は2009年3月期で、売上

高3383億円、営業利益は237億円、従業員1万5000人。これにソランが加わることにより売上高4000億円、営業利益270億円、従業員1万9000人へと規模を拡大しました。売上高では、ITサービス業界2位の規模になる予定です。

## スケールメリットを生かした 企業地位の確立と共同開発

このスケールメリットを生かして、①独立系プライムコントラクターのリーディングカンパニー②クレジットカード、銀行、生損保など金融機関の大規模システム開発、運用でのトップランナー③お客さま業種の分散によって特定業種のIT投資動向に左右されない安定した収益構造④豊富な技術ノウハウの蓄積と経営リソースの効率活用を行い、IT業界のリーディング企業として国際競争力だけでなく国内でも確固たる地位の確立を目標とします。

具体的な共同開発、共同営業実績としては、  
①インテック、TIS、アグレックス3社による営業支援システムの共同提案②インテックとTISのシンククライアント共同提案③インテックとアグレックスの金融ソリューション④インテックとユーフィットとの保険ソリューションなどがあげられます。



グループ各社でイベントへ共同出席

## 第1次中期経営計画を後押し

ソランの統合により、第1次中期経営計画は、確実に後押しされることとなります。ITHDがスタートさせた2009年4月から3年間の中期経営計画「IT Evolution 2011」は、IT業界を取り巻く、パラダイムシフト(大きな環境変化)に対応するため、2012年3月までに目指す企業グループ像「グループ各社が個性を伸ばしながらグループ総合力を発揮し、品質・信頼技術価格面で高い競争力を持ち、常に進化し続けるIT企業グループ」お客さまとの信頼関係をベースとしたビジネスを展開する」など7つの中期経営方針を定めています。また、さまざまな技術や得意分野を持った事業会社で構成されたITHDグループは、これまで、各社が独自に技術を磨き、多種多様なシステム開発やサービスの提供に比べられる生産基盤を作ってきました。各社ごとのこの生産基盤は、今後、激しい競争に勝ち残っていく武器であると同時に、ITHDグループにとって大きな財産でもあります。

## グローバルなビジネス展開を推進

一方、グローバル社会の中で避けて通れないのが、海外戦略の推進です。

イギリス大手の通信会社で欧米実績の高いBT社と行った業務提携では、お客さまに中長期的にワールドワイドなITサービスを提供することを目標に掲げています。これに、20年前から中国に進出し、幅広く活動しているソランが加わるにより、グローバルにビジネスを展開している企業に対して、さらに付加価値の高いITサービスソリューションを提供していくこととなります。